
令和6年度 第1回
川口市社会福祉審議会 地域福祉専門分科会
議 事 要 旨

【日 時】 令和7年3月26日（水） 14:00～15:30

【場 所】 川口市立青木会館3階会議室A

【出席者】

1 委 員

福田委員（会長）、宇佐美委員（副会長）、田中委員、浅見委員、漆山委員、堀委員、鈴木委員、大岡委員、神山委員、堀田委員、吉井委員、山下委員、植杉委員、小柳委員

2 事務局

森部長、森岡課長、北倉主幹、真壁補佐、大橋補佐、野口主任、渡辺主任

【日 程】

1 開 会

2 福専門分科会長の指名について

3 議 事

議題 川口市地域共生社会推進計画の進捗状況について

4 そ の 他

5 閉 会

【配布資料】

- ・次第
- ・令和6年度川口市地域共生社会推進計画評価報告書（案）

〔議事要旨〕

1 開 会

2 議 事

議題 川口市地域共生社会推進計画の進捗状況について

事務局森岡福祉総務課長より、令和6年度川口市地域共生社会推進計画評価報告書（案）についての説明が行われた。

【質疑応答・意見】

（委員）

基本ストラクチャーについて。最重要の6ページは約90%のパフォーマンスを達成しているため、全文を総合勘案すれば評価Aでも遜色はないと考えるが見解は。

また3行目に「・・・一定の成果・・・」との記載があるが、目標値か目標値以上を達成しており「目標値またはそれ以上を達成する成果」とするほうが至当ではないか。

（事務局）

評価指標の設定については、本計画では社会情勢等を踏まえた機動的な施策の見直しを行うために、基本目標と施策に定量的な目標を設定しており、評価は目標に対する達成度合に定性的な取組を加味して、S・A・B・C・Dの5段階で評価を行うことから評価を「B」としている。

また、6ページ3行目の「・・・一定の成果・・・」の表現については、評価が「B」である以上、「目標値またはそれ以上を達成する成果」とは記載できない。

（委員）

8ページ中段の就職者数が評価Cとなっているが、目標値の達成率を計算すると24.6%となり、外形的にはCどころかDでも違和感がある。

（事務局）

定性的な取組に対する評価について、数値で表すことのできない項目やプロセスに対する項目について、合理的な説明ができるよう整理する。

（委員）

7ページ下段のひきこもりの方に関して、年齢等の定義は。また、再犯防止推進計画について、計画に掲げる支援に関して、再犯防止に向けた施策として全体的な底上げをするのかベースアップを行うのか。

（事務局）

ひきこもりの定義は現状定めておらず、実態調査を通じて出た傾向、課題から本市で行う支援等を考察していきたいと考えている。

再犯防止推進計画について、今回の川口市福祉推進計画が初めての策定となり、3ヵ年計画の中で事業方針を積み重ね再犯防止に繋げたいと考えている。

（委員）

7ページの世代・属性を問わない交流の場の数について、地域づくりトークセッション3か所とは。また、みんなの居場所設置支援助成金事業7か所設置の内容は。

さらに、オンラインラウンジe場所とはどういったものか。

(事務局)

地域づくりトークセッションとは、世代属性を問わずに集まり交流する場所として、地域包括支援センターや障害者施設を提供したもの。みんなの居場所設置支援助成金事業はカフェやボッチャなど世代属性を問わない交流の場を新たに設置する団体に向けた設置初期費用の助成である。

オンラインラウンジの場所とは、試行的に行ったものであるが、引きこもり当事者同士の交流の場の提供として、ZOOMを活用し支援委員及び職員も同席のうえ、ゲームなどを通じて交流をおこなった。

3 その他

(事務局)

来年度の本専門分科会において、令和6年度の確定した数値に基づく評価について意見を頂く予定としている。日程等の詳細は別途通知する。

4 閉 会

以 上